



たにしい

2025.5

19

FREE

睡眠を「科学」する

緊急特集

「梅毒」

日本全国で
流行中の謎を追う

鳥大の人々

藤原和典

鳥取大学医学部附属病院 病院長特別補佐
頭頸部診療科群 教授

病院長対談「武」に「虎」

武中 篤×ダイノジ・大谷ノブ彦 (漫才師、DJ)

あの人気企画が帰ってきた!

YOUは何しに
「とりだい」へ?

Why did you come to Toridai?

2

臨床外科医、教員、研究者、医療機器開発者、そして病院運営——五つの顔を持つ男

藤原和典 鳥取大学医学部附属病院 病院長特別補佐 頭頸部診療科群 教授



内視鏡検査（胃カメラ）を受ける患者の苦しさを軽減するために、藤原は『ギャグレスマウスピース』という製品を考案し、2018年には実際に販売を開始した。その発想の根源は、検査を見た時に感じた小さな違和感だった。——このやり方は、何かがおかしい。当たり前とされている常識を疑い、変化を恐れず自分が良いと思う方法を取り入れていく藤原の姿勢は、いくつもの出会いによって形づくられてきた。

写真 馬場磨貴

しかるべき時に誰と会うかで、人生は大きく変わるものだ。1人目との出会いは2001年の冬だった。藤原和典が研修医になって1年目のことだ。彼の耳鼻咽喉・頭頸部外科に新たな教授がやってきた。新教授——北野博也は医局員を集めてひとしきり話をしたあと、食事に行くぞと医局長に声を掛けた。そしてもう一人誰か連れて行くか、と藤原を指さした。なぜ一番下っ端のぼくなんだと驚いたという。「それまでは、他と同じことをやっている普通の地方大学だったんです。（北野が来て）上の人たちは、大変なことになったという空気でした。北野先生は、医局を根底から変えなきゃいけないっていう話をされました。山陰って大人しい、引っ込み思案な人が多い。そんな中、自分のやりたいことを情熱を持って話す人を見たことがなかった」

食事の場では、緊張のせい料理の味を全く感じられなかった。同時に、何か面白いことになりそうだと楽しみにしている自分もいた。

直後から医局の雰囲気さがらりと変わり、人が入れ替わった。

翌年、藤原は「医局人事」によって松江赤十字病院、京都医療センターに派遣される。そして2005年に鳥取大学医学部附属病院に戻った。この頃から、北野と中国の香港中文大学を訪れるようになった。ロボット支援手術の視察のため

病気にかからない、あるいは怪我をしないという人はいません。医療は生活に切り離せないものです。それにもかかわらず、病院を敬遠したり、垣根が高いと感じる人も少なくありません。そこで、医療の世界を「いかに知ってもらうか」↓「いかに知る」↓「カニジル」となりました。

もちろん、とりだい病院のある鳥取県の名産品、蟹のだし（味噌汁）にも掛けています。蟹汁のように、皆さまに愛される存在でありたいという思いも込めました。

「カニジル」が第一にこだわるのは「ファクト」です。医療に関して、不正確な情報が世の中にはあふれています。短く、分かりやすい言葉は人々の心に突き刺さりやすい。しかし、現実はその簡単ではありません。分かりやすくするため、大切なものを多くそぎ落としています。あまり知られていませんが、医療は、科学的に証明されていることとそうでないことを完全に二分できない世界です。その時点でのファクト＝エビデンスを重んじていても、そのファクト自体がひっくり返ることもあり得る。大切なのは、愚直に取材し、確かな文献に当たり、真摯に考える——それが我々の姿勢です。

IT（情報技術）、SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）の発達により、我々が手にする情報は爆発的に増えました。その中から、いかに正確な情報を選び取ることができるか。生命の危機にも直結する医学では、その力が特に必要になってきます。カニジルはそのお手伝いをしたいと考えています。

とりだい病院は、医療機関であると同時に、職員、患者を合わせて1日の滞留人口は約4千人から5千



人。この地域でもっとも人が集まる場所です。原田省・前病院長は、「すぐれた文化を展開し、へ人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持」する可能性を秘めているという意味で、病院は「社会的共通資本」であると定義しました。この「社会的共通資本」は、米子出身の世界的な経済学者、宇沢弘文氏が提唱した言葉です。宇沢氏は、著書の中で社会的共通資本を（一人ひとりの人間的尊厳を守り、魂の自立を支え、市民の基本的権利を最大限に維持するために不可欠な役割を果たすもの）とも書いています。

2023年4月から原田氏の後を継いだ武中篤病院長の下で、とりだい病院サポーター制度「地域と共に創る自慢のOur hospital」が始まっています。武中病院長は「社会的共通資本である国立大学病院に、住民の方々にボランティアとして関わり、喜び、やり甲斐を見つけていただくこと。そしてサポーター同士、職員、学生たちと新たなコミュニケーションを創ってもらいたい」と語ります。そして、とりだい病院が「Our hospital」（アワーホスピタル）、つまり「私たちの自慢の病院」となることが最終目標である、と。こうしたとりだい病院の挑戦、考えを、この『カニジル』および『カニジルラジオ』（BS山陰放送ラジオで毎週土曜日ひる0時25分からオンエア）で伝えていきます。

とりだい病院のある米子市を含めた山陰地方は、「過疎」「超高齢化社会」という日本が抱える問題が凝縮されています。一方、人との温かいつながり、自然など、都会にはない豊かさがある。問題を解決しつつ、豊かさをどう維持していくか——。先んじて未来の問題を解決できる場所なのです。

CONTENTS

03	臨床外科医、教員、研究者、医療機器開発者、そして病院運営——五つの顔を持つ男
06	鳥取大学医学部附属病院病院長特別補佐 頭頸部診療科群 教授 藤原和典
06	睡眠を「科学」する
10	緊急特集 「梅毒」日本全国で流行中の謎を追う
13	鳥取大学医学部・附属病院の外国人に直撃！「Youは何しに「とりだい」へ？」 part 2
16	ダイノジ・大谷ノブ彦（漫才師、DJ）
20	カニジルブックレビュー 医療従事者は「話題の本」をこう読む
21	一緒に「Our hospital——私たちの病院——」を作りませんか？
22	とりだい病院サポーター通信 カニ箱——カニジル「意見箱」
23	Totori Breath 大阪・関西万博と『待たずにラク』
24	2029年新病院着工へ
	とりだい「未来病院」発進!!「私」なら、こうする＆こうしたい！
	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野 特命助教 金弘子
	飛鳥の森——編集後記 シン・トリビート
	フォトグラファ―七咲友梨が切り取る、とりだい病院の日常

〈表紙写真〉馬場磨貴（うまば まき）

東京都生まれ。美術大学油絵科在学中から写真を撮り始める。卒業後、大手新聞社の出版写真部に勤務、フォトグラファーとして多くの企画に携わる。2002年 文化庁在外研修生として渡仏。帰国後は東京を拠点に活動 文化学園大学、日本写真芸術専門学校講師。第33回 太陽賞・準太陽賞受賞、第5回 Canon 写真新世紀佳作受賞。写真集に『We are here/赤々舎』、『ABSENCE/蒼穹舎』、『Donor/IRIS ARLES』などがある。

だった。

「そのとき、ロボット手術って何？ という感じでした。しかし、北野先生はいずれロボット手術の時代が来ると考えていた。北野先生が親しくされている先生が、香港中文大学でロボットを使い始めようと準備されていたんです」

香港中文大学は1949年設立の公立大学で、世界大学ランキングでは常に50位以内に入る研究大学だ。北野の専門である甲状腺は喉仏の下方にある。がんなどの摘出手術を行う場合、喉の部分を切開する必要がある。ロボット手術では脇に小さな穴を開けて手術用の鉗子かんしを入れるため、首の部分に手術の跡が残らない。

「慣れない手術方式だったこともあって、皆さん、苦労していた。この手術を広く使って行くのはまだ時間が掛かる。ただ、ロボットが普及すれば、医療界は変わっていくのだとも思いました」

北野は既成概念を疑い、常に進歩を求める男だった。北野と話をしているうちに自分が自由になっていく感覚があった。「小さい頃、親からお前は突拍子もないことをやる、考えが極端だ、もつとみんなに合わせろって言われました」

山陰人は、一般的に控えめで慎重、年長者を立て、継続を重んじる。自分の考えをきちんと主張する人間は稀だ。

「ぼくは少しでも良いと思うことをやるのがなぜ悪いんだと、心の中で反発して

いました。北野先生から、お前はそのままで行けばいいと言われて、嬉しかったことを覚えています」

北野は2011年にとりだいい病院長となる。『低侵襲外科センター』を立ち上げた。侵襲とは、生体内の恒常性を乱す可能性のある外部からの刺激を意味する。低侵襲とは、患者の身体に傷を付けるメスなどの切開を減らすこと。その代表がロボット手術である。

低侵襲外科センターの特徴は、ロボット手術に関わる可能性のあるすべての外科系診療科を集めたことだ。大学病院特有の問題として、各診療科が過度に競い合い、壁を作る癖がある。それにより情報共有が遅れ、医療事故に結びつく場合もある。その問題を解決するため、北野はロボット手術という括りで、半ば強引に垣根を下げたのだ。こうした試みは日本で初めてだった。

日本の医師はすごい努力をするしかし、システム作りが苦手

低侵襲外科センター立ち上げの翌年、2012年に藤原はアメリカのメモリアル・スローン・ケタリングがんセンター及び、ペンシルベニア大学へ留学している。主たる目的は、専門である頭頸部がんのロボット手術の最新状況を肌で感じることだった。頭頸部とは、脳と目を除く首から上を指す。藤原の得意とする咽

頭がんなどは口から鉗子を入れるため、身体に全く傷が付かない。

「アメリカでは（頭頸部がんの）ロボット手術が走り出したというレベルでした。正直なところ技術は追いつけると感じました。ただ、何が凄いつて、システムが整っている」

例えば――

ペンシルベニア大学では患者は複数個ある診察室に入る。その部屋を教授が回って行く。診察が終わると新しい患者と入れ替わる。この方法だと効率的に多くの患者を診ることができ。教授を中心にそれぞれの職種の人間がプロ意識をもつて整然と動いているのが印象的だった。「日本だったら、医師は診察室で待っていて、はい、次の方どうぞ、っていうふうになる。患者さんの出入りで時間が掛かる。日本の医師って、すごい努力をするんです。しかし、システム作りが苦手」

藤原の人生を変えた2人目の男、頭頸部がんのロボット手術の第一人者であるペンシルベニア大学の教授――ワインスタインからも大きな刺激を受けた。

「かなり癖のある方だったんですが、とにかく食らいついていくつもりで色々と質問しました。（手術の）技術をしっかりと教えていただいた上、研修センターの行き帰りはワインスタインさんの車に乗せてもらいました」

ぼくみたいに執念深い奴はあまりいな

うものだった。しかし、口を開くとがらりと変わった。

「とにかく自分の目標に猪突猛進の人。損をしようが、これをやるんだと決めたら貫く」

三木谷は高校生のとき、鳥取大学医学部への進学を志望していた時期があったことも二人の距離を縮めた。

「お兄さんがお医者さんで、（米子市）皆生に親戚がいらっしゃった。実際は、一橋大学に進学されるのですが、鳥取大学に対する思いがあった」

後日、三木谷は鳥取大学医学部を訪れ、学生相手に講演を行なっている。定員を超える学生、教職員が集まり、三木谷の話に聞き入った。

2023年、藤原は低侵襲外科センターのセンター長に就任、同時期にとりだいい病院の患者サービス担当として『とりだいい病院サポーター』――ボランティアを束ねることになった。そして国立大学病院で初の試みだった『とりだいいフェス2024』の実行委員長も務めた。

臨床外科医、教員、研究者、医療機器開発者、そして病院運営が仕事に加わったことになる。

「本当はもう少し純粋な教授でいたかったんですが、病院全体を俯瞰くわんして見るのもいい機会だと思って楽しみながらやっています」

患者サービス担当には多くの投書、意見が寄せられる。そこから様々な発見も

かったせいかもしれませんが、可愛がってもらいましたと藤原は笑う。

約半年間の留学から戻ると、とりだいい病院でロボット手術を任せられることになった。

頭頸部がん分野でのロボット手術は日本では保険適用はもちろん、薬事承認さえ通っていなかった。

「鳥取大学が責任を持って、日本で先駆けて大学の校費で手術をすることになりました」

平たく言うと、手術費はすべて病院持ち、患者の金銭的負担はゼロ、である。「がんが喉のどこにあるかにもよるんですが、（頭頸部がんの）手術をする場所の数ミリ外側を頸動脈が走っています。失敗したら重大事故になりかねない可能性がある。部位によっては最高レベルの難易度の手術なんです」

ただし、慣ればぼくとしてはそれほど難しくないと思っているんですとも言

う。とりだいい病院の低侵襲外科センターは、頭頸部がんのロボット手術の実績を積み上げ、藤原は薬事承認、そして保険適用に必要なガイドラインの作成にも関わった。

「この治療を進化させるには多くの施設で手術する必要がある。どうしたら患者さんの安全を担保しながら、皆さんが手術できるか、10年先を考えながら原案を作りました」

あったという。

多忙の中、研究論文執筆の時間をどのようにに取っているのですかと聞くと「ぼくは机に座って、書くのが苦手なんですよ」という答えが返ってきた。

「論文の元になるデータを頭に入れておいて、外来（診療）へ向かい歩きながら、組み立てています。外来に着いたら、メモ用紙にばーっと走り書きする。それを基に後から机に座って書いていく」

長らく日本の医療は、医療従事者の心意気、精神力、忍耐力に頼り、効率化を怠ってきた。昨年、医療従事者にも『働き方改革』が適用されることになった。いかに医療の質を下げずに、持続的な医療を提供するか。既成概念に囚われず、前向きに物事を進める藤原のような人材は、これからより必要とされるだろう。

文・田崎健太

1968年3月13日京都市生まれ。ノンフィクション作家「カニジル」編集長。早稲田大学法学部卒業後、小学館に入社。『週刊ボスト』編集部などを経て独立。著書に『偶然完全 勝新太郎伝』『球童 伊良部秀輝伝』（ミズノスポーツライター賞優秀賞）『電通とFIFA』『真説・長州力』『真説、佐山サトル』『スポーツアイデンティティ』など。最新刊は『横浜フリューゲルスはなぜ消滅しなければならなかったのか（カンゼン）。小学校3年生から3年間鳥取市に在住。（株）カニジル代表として千船病院広報誌「虹くじら」、近畿大学医学部がんセンター広報誌「梅☆うめばし」も制作。

藤原和典（ふじわら かずのり）1975年鳥取県鳥取市生まれ。2001年鳥取大学医学部卒業。松江赤十字病院、京都医療センターを経て、2005年4月鳥取大学医学部附属病院に入職。2012年米国メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター及びペンシルベニア大学へ留学。2021年鳥取大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授に就任する。2023年より病院長特別補佐及び低侵襲外科センター長に就任し、病院運営に携わっている。2025年から広報・企画戦略センター長。



同時期、藤原は医療機器の開発も手掛けている。胃カメラ検査の苦しさを解消できないか、という消化器内科からの相談で「馬でい形」――U字型のマウスピースを思いついた。カメラを入れた時の「オエッ（Gag）」を「少なくとも（less）」という意味の「ギャグレスマウスピース」は2018年11月に販売を開始、最初の1年間で700セットを売り上げた。それまでの前歯で噛んでいたマウスピースを奥歯で噛むように改良したのだ。既成概念にとらわれない藤原らしい発想だった。

2020年、藤原の背中を押す新たな出会いがあった。はじまりは、沖縄コンベンションセンターで行われた頭頸部外科学会総会だった。

3番目の出会いは

「鳥取大学医学部」を志望していた起業家

「学会で楽天メディカルの方に話しかけられたんです。おそらく彼らはモニター調査をしていたんだと思います。その面談でこういう治療がありますが、ご興味ありますかと訊ねられた」

がん細胞に結合する薬剤とレーザー光を照射し、がん細胞を破壊する、光免疫療法である。

2012年に楽天グループ代表取締役会長兼社長・三木谷 浩史の父親が末期の膵臓すいぞうがんと診断された。三木谷は、父親を助けるために世界中の治療法を探し、アメリカの国立がん研究所で進められていた光免疫療法を見つけたという。三木谷の父親は残念ながら、この新しい治療法を受けることはできず亡くなった。それでも三木谷は歩みを止めることなく、2019年に後に楽天メディカルとなる企業を立ち上げたのだ。

「ぼくらが手を尽くして、もう治療方法がありませんという患者さんに新たなオプションが増えるという治療。ぼくは昔、血液内科に向向していた時期があり、化学療法にも興味がありました。理論的にこの治療は成功するという直感がありました。こうした新しい治療を鳥取大学がやらずして、どこがやるんだと」

三木谷の第一印象は、物静かな男とい



睡眠を

科学する

「レム睡眠とノンレム睡眠」「睡眠時無呼吸症候群」
「良い眠りと呼吸」

ギリシャ神話にはヒュプノスという眠りの「神」が登場する。「夜」の女神ニュクスの子であり、優しく穏やかな性格をしている。ニュクスのもう一人の子——兄弟のタナトスは「死」の神だ。ギリシャの人々は眠りと死は表裏一体だととらえていたのだろう。死に似た睡眠に古くから人は惹きつけられていた。かつて睡眠は脳を休めるためとされてきた。しかし、夢を見ることでわかるように実は脳は動いている。また、睡眠が不足すればどうなるのか。睡眠の最前線の知見を専門家に聞いた。

取材・文 中原 由依子 写真 馬場磨貴

レム睡眠と ノンレム睡眠の違い



なぜ生き物は眠るのか——。このシンプルな問いに、多くの科学者が挑んできた。しかし、いまだに明確な答えは見つかっていない。

とくだい病院精神科の助教（取材時）・吉岡大祐は、「睡眠はヒトのような高等動物にとって不可欠なものです」と語る。「すべての生き物は概日リズムの中で、エネルギーを取り込む『活動期』と、それ以外の『休息期』を持っています。特に私たちのように脳が発達した高等動物は、深い睡眠をとって脳を休ませる仕組みを、進化の過程で獲得してきたと考えられています」

概日リズムとは、地球の自転に同調して約24時間周期で繰り返される、生体内の環境変化のことだ。『体内時計』とも呼ばれ、これにより睡眠と覚醒のサイクルがコントロールされている。

まずは睡眠のメカニズムをみていこう。睡眠はひとくくりにされがちだが、「ノンレム（non-REM）睡眠」と「レム（REM）睡眠」という、まったく異なる2つの状態に分けられる。

ヒトは眠ると、ノンレム睡眠に入る。大脳皮質のニューロン（神経細胞）の活動が低下し、徐々に同期して発火する状態だ。ニューロンの＋と－が同じタイミ

ングで発火し、パソコンの「スリープモード」に入るようなものと理解するとよい。「ノンレム睡眠には1〜3の段階があり、数字が大きいくほど眠りは深くなります。入眠直後にまず第1段階に入り、そこから徐々に深くなっていきますが、必ずしも第3段階まで進むとは限りません」

ノンレム睡眠が約60〜90分続くと、脳は再び活動を始める。これがレム睡眠だ。「よく知られているように、『レム』とは『Rapid Eye Movements』（急速眼球運動）の略称。まぶたの下では眼球がすばやく動いています。脳は起きているときと同じか、それ以上に活発に活動しているのです。ただし、脳と『感覚系』や『運動系』とのつながりが遮断されているため、身体は動かない」

身体が脳と切り離された「オフライン」状態のようなものだ。「なぜノンレム睡眠とレム睡眠があるのかは、まだ分かっていません。興味深いのは、ノンレム睡眠時には筋肉に力が入るのに対し、レム睡眠時には脱力している点です」

一般的に夢はレム睡眠中に見るとされている。そしてレム睡眠中の夢は奇妙で感情をともなうストーリー性のある内容が多い。

「夢を見ているときに筋肉に力が入っていたら、夢に合わせて実際に行動してしまうかもしれません。だからこそ、レム睡眠中は身体が脱力していると考えられ

ます。レム睡眠中に目覚めたときに動けないのが、いわゆる『金縛り』です」

レム睡眠状態でもりやり覚醒させる（起こす）と、その時に見ていた夢の内容を詳細に説明できるという研究もある。ノンレム睡眠時も夢を見るが、その内容はシンプルなものである。知らず知らずのうちに寝返りをしているのは、脳と身体が完全にオフラインになっていないノンレム睡眠状態のときだ。

「睡眠は基本的には外界からの刺激に対して身体を休めている状態だと考えられます。ダメージを受けた部分の修復、成長ホルモンも覚醒中よりも分泌しています」

睡眠をとることで起きているときの記憶を強化することも古くから知られている。近年の研究では、レム睡眠よりもノンレム睡眠、特に深いノンレム睡眠が記憶の整理や強化に重要な働きをしていることが分かってきた。

このように睡眠とは生命維持に不可欠な要素である。しかし、近年、この重要な睡眠を十分にとれていないという人が増えている。

睡眠時の状態を調べる PSG検査



鳥取大学医学部保健学科教授で耳鼻科医師の片岡英幸に、ある男性患者——AさんのPSG検査データを元に睡眠状

態を細かく分析してもらおう。

PSG検査（終夜睡眠ポリグラフ検査）とは、脳波・眼球運動・心電図・筋電図・酸素飽和度・呼吸などの生体活動を、一晚にわたって測定するものだ。専用の部屋で1泊入院し、頭部や胸部、指先、すねなどにセンサーを取り付けて眠る。この検査により、睡眠に関する多くの情報が同時に得られる。

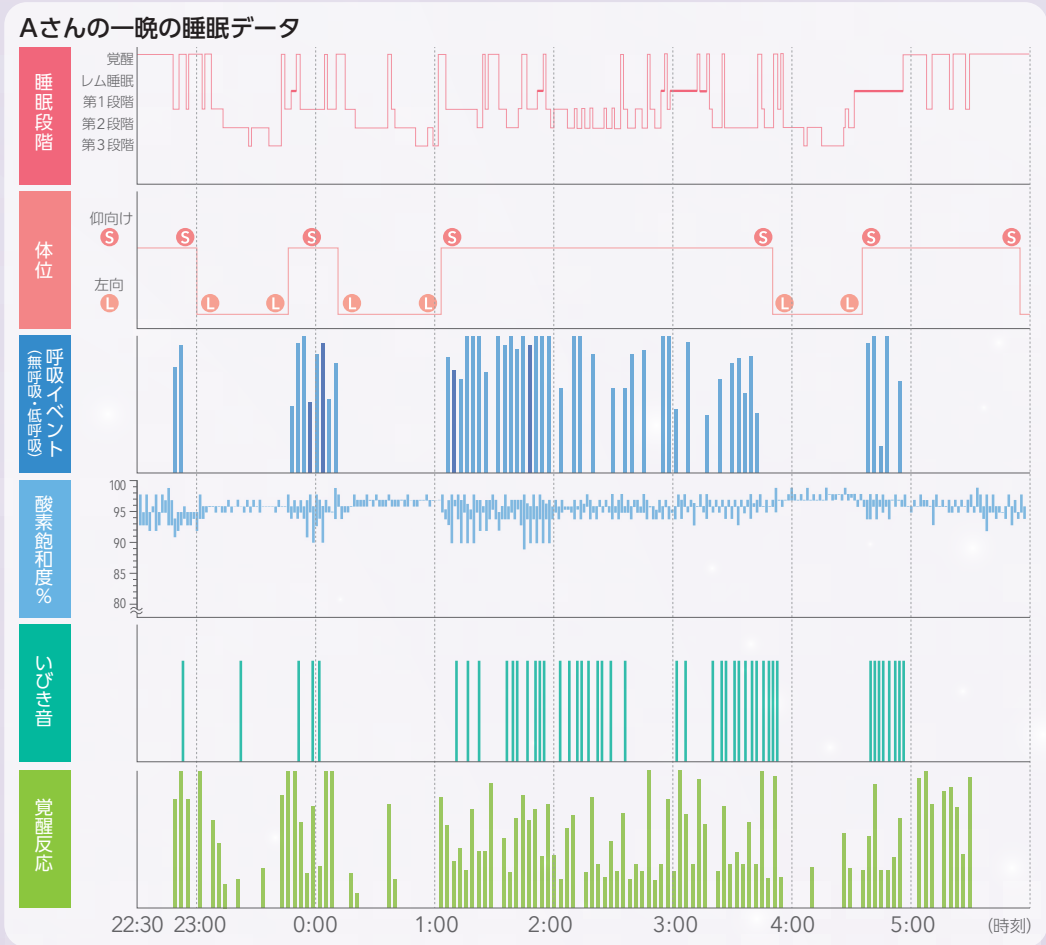
まず片岡は、いびきの出現と呼吸イベント①を指差した。

ヒトは眠りにつくときと全身の筋肉が緩む。舌や気道周辺の筋肉の力が抜け、舌が落ち込むため、気道が狭くなる。その狭い気道を空気が通過するとき振動して音が出る。これがいびきである。いびきは音だけではなく、息が止まったり、息が弱くなるいびきがあることだ。

「Aさんは、いびきと同時に無呼吸と低呼吸がカウントされています。1時間あたりの無呼吸低呼吸指数（AHI）②が28.4回ありました。中等症の閉塞性睡眠時無

【註釈】

- ① 無呼吸と低呼吸を示す。
- ② 10秒以上の無呼吸・低呼吸があり、低呼吸では3%以上の酸素飽和度の低下や覚醒反応が起こった呼吸状態を指す。一晚の呼吸イベントの回数を計測し、1時間あたりの平均値を出したものの。睡眠時無呼吸症候群の重症度の指標。



呼吸という診断になります」
無呼吸は寝ている間の呼吸が10秒以上止まっている状態、低呼吸は浅い呼吸が10秒以上続いて、血液中の酸素が減少したり覚醒反応がみられた状態を指す。

閉塞性睡眠時無呼吸は、舌や何らかの原因で気道が塞がることで起こる。1時間あたりの無呼吸・低呼吸の回数が5回以上15回未満は軽症、15回以上30回未満は中等症、30回以上は重症に該当する。

知らず知らずのうちに「悪い睡眠」が身体を蝕んでいるかもしれない

そもそもいい睡眠とは何か――
片岡は睡眠の周期や深度が適切に繰り返されることだと話す。睡眠中の呼吸が途切れないことが必須だ。

呼吸は鼻と口の2種類。一般的に睡眠中は鼻呼吸がよいとされる。

「鼻呼吸は鼻腔を通ることで空気中の異物が除去されたり、加湿、加温されて肺に供給されるというメリットがあります。反対に口呼吸は、乾燥した空気が直接肺に送り込まれるので、肺に悪影響をきたし、睡眠中に口が開くと顎が下がり、舌が落ち込むこともあり、無呼吸を悪化させます」

ヒトの生命活動には自律神経が深く関与しており、活動時には交感神経、静養時には副交感神経の働きが高まる。鼻呼吸でしかも深くゆっくりとした呼吸を繰り返すと、心身がリラックスし副交感神経を優位にさせるため、睡眠に適している。

前出のAさんがノンレム睡眠中に左に身体向きを変えていたように、睡眠時無呼吸症候群であっても呼吸が安定する体勢がある。身体向きを調節する『抱き枕』など自分に合った枕を選ぶことも

1つの選択肢になる。

吉岡は「いい睡眠とは覚醒と睡眠の状態をちゃんと維持できるかにもよる」と語る。

脳内には睡眠に関する神経物質と覚醒に関する神経物質が存在し、睡眠の維持とリズムの構築が行われている。覚醒と睡眠のスイッチを担う大事な神経伝達物質オレキシンが欠乏すると、覚醒をきちんと維持できない『ナルコレプシー』を発症する。

ナルコレプシーは作家・伊集院 静の小説『いぬむり先生』などでもその名を聞いたことがある人もいるかもしれない。主人公のモデルとなった作家の色川武大はナルコレプシーだった。この疾患は時と場所を問わず、自分では制御できない眠気に襲われ、1日に何度も居眠りを繰り返してしまう。

14〜16歳と中高生の時期が発症のピークで、ちようど受験など学業が忙しく睡眠時間も減りがちな頃と重なる。

「授業中の居眠りを単なる睡眠不足ととらえてしまうと、発見が遅れ、その人の学業や進路に不利益が生じるので気をつけなければなりません」

脳内で分泌される神経伝達物質の一種であるドーパミンは、意欲や集中力、運動能力の向上に関わるものだが、覚醒にも関与している。減少すると寝る前に足がむずむずしてなかなか寝付けない『むずむず脚症候群（レストレスレッグス症

無呼吸低呼吸指数（AHI）のほか、注目すべきは酸素飽和度の数値だ。

酸素飽和度とは、血液中のヘモグロビンがどれだけ酸素と結びついているかを示す割合だ。[SpO₂（エスプーオーツー）]という指標で表され、単位はパーセント（%）。健康な人であれば、睡眠時でも酸素飽和度は95%以上ある。

「Aさんの場合は、最低の酸素飽和度^③は86%まで下がっています。低酸素で身体が酸欠状態になり、苦しくなって、ほんの数秒間覚醒する。バーンと激しく呼吸をして酸素を取り込む。すると酸素飽和度が正常値に戻って再び眠りにつく。しかしまた気道が狭くなりだし酸素が十分に入ってこなくなる。そしてまた覚醒する。これを一晩中、繰り返すわけです」

睡眠時無呼吸症候群の人は、身体がリラックスするところまで眠りが進むと、息が止まって覚醒反応^④が起きる。頻回に覚醒するので、ノンレム睡眠の睡眠段階が深い睡眠まで到達せず、睡眠が浅くなってしまふ。

体位のグラフを見てみよう。Aさんは仰向けの時はノンレム睡眠でもレム睡眠でもいびきと低呼吸があり、睡眠段階は第2段階までの浅い睡眠になっている。ノンレム睡眠の途中で仰向けから横向きに寝返りを打つと、睡眠段階は第3段階まで達し深い睡眠が得られている。気道が塞がらずに呼吸が通っているのだ。Aさんの場合は特定の体位のみ呼吸が通る

「体位依存性」の睡眠時無呼吸であることがわかる。

Aさんは低呼吸、無呼吸になり一時的に酸素飽和濃度が80%台に下がっている。もっと重症では一時的に50〜60%台にまで下がる患者もいる。酸素飽和度の低下は呼吸が苦しくて覚醒するだけではない。「低酸素状態になると、呼吸を再開させようと脳が覚醒し、さらに交感神経を活性化して血圧や心拍数を上げます。それにより血管や心臓に負荷がかかってしまいます」

慢性化すると高血圧や心臓病、脳梗塞などの発症リスクが増える^⑤。

Aさん自身、睡眠時無呼吸症候群の自覚はなかったという。新型コロナウイルス感染症の後遺症として、日常的に頭痛に悩まされていた。日中に強い眠気やだるさがあることから耳鼻科を紹介され、

【註釈】

- ③ 睡眠中に最も酸素が低下した状態を表す数値。
- ④ 息が止まると、窒息を防ぐため、ほんの数秒間目を覚ます。まぶたを開けることもあれば脳波だけで覚醒が判定できることもある。検査では脳波上で睡眠から覚醒状態に移行する「覚醒反応」を計測する。
- ⑤ 無呼吸により酸素飽和度の変動が繰り返されると酸化ストレスを誘発し動脈硬化の一因となる。



眠時無呼吸症候群のように、知らず知らずのうちに身体のおちこちを蝕み、様々な病気を悪化させる可能性もある。いい睡眠の確保には「睡眠を軽視せず、謙虚になること」と吉岡は言う。

睡眠不足で疲れた状態が続く、起きたときに寝た感じがしないなど、不安がある場合は、専門医に相談してほしい。

梅毒

日本全国で流行中の謎を追う

高齢者の感染者増

妊婦への影響

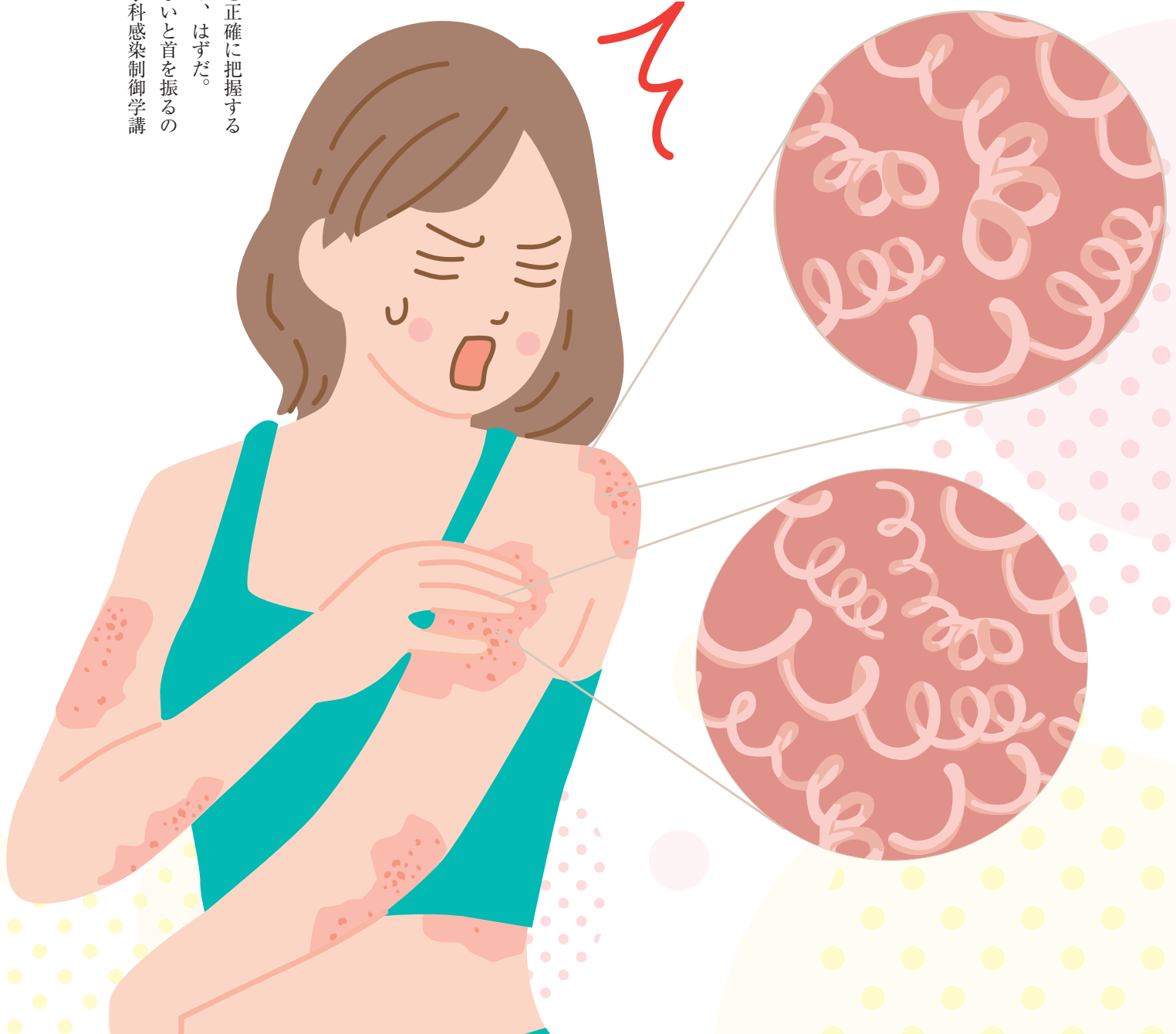
感染が疑われるときは、どうする？

日本国内における「梅毒」の感染者数は、1967年に約11000人が報告されて以降、長期にわたり減少傾向が続いていた。梅毒は撲滅されたと言っている水準にまで減少していたため、一時期は医療者ですらほとんど出会うことのない「過去の病気」となっていたという。しかし、近年はへほんの15年ほど前までは「という但し書きがつくようになった。2011年頃、梅毒感染者は再び増加に転じ、2021年以降は急激な伸びを見せている。2023年の報告数は14906人に達し、50年に一度の大流行期に入ったと言われている。

取材・文 西村隆平

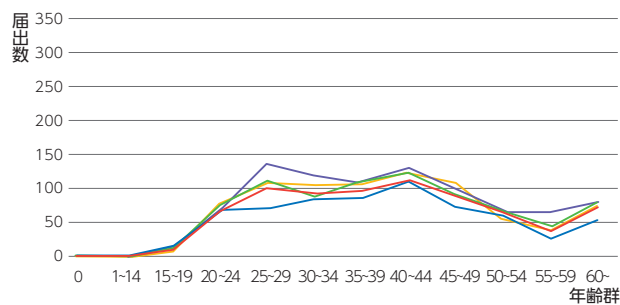
梅毒は5類感染症全数把握対象疾患に定められており、診断した医師は7日以内に管轄の保健所に届け出ることが義務付けられている。つまり、医療機関で

治療を受けた患者の数を正確に把握することができない病気である、はずだ。実情はそうならないと首を振るのは、鳥取大学医学部医学科感染制御学講

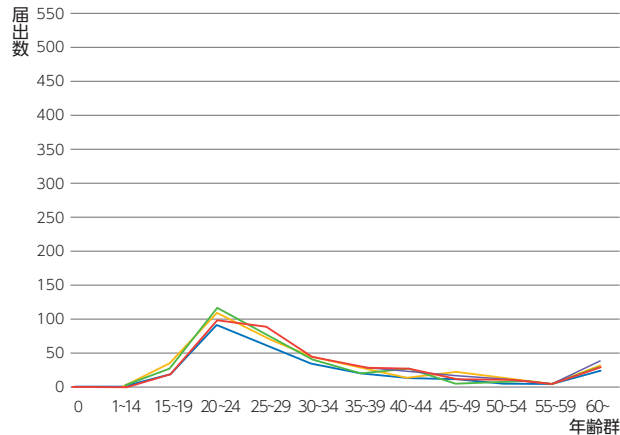


2016年と2023年の比較※

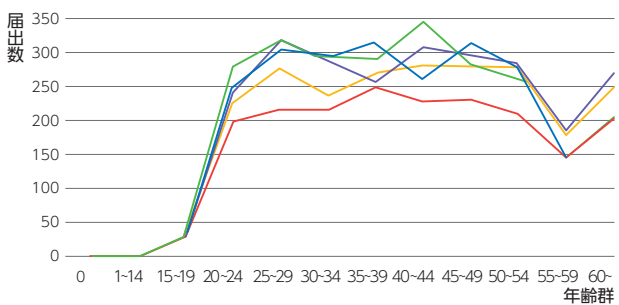
2016年 男性



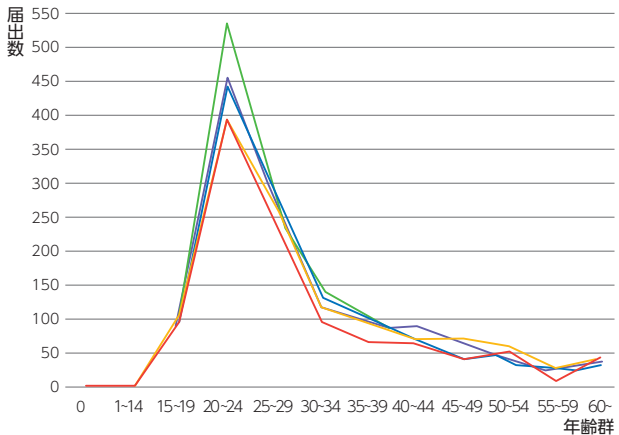
2016年 女性



2023年 男性



2023年 女性



— 第1～13週 — 第14～26週 — 第27～39週 — 第40～52週 — 第1～13週(翌年)

※「日本梅毒症例の動向について」国立健康危機管理研究機構（2017年第1四半期：2017年4月5日現在）および（2024年第1四半期：2024年4月3日現在）

座細菌学分野准教授の小幡史子だ。

「治療に出来ない方もいますので、感染者が実際にどれくらいいるのか、正確には把握できません。鳥取県では2023年の報告数が年間で約30件、少ないように感じますが、その10年前は0件でした。国立感染症研究所の県別感染者数データによると、人口比の感染者数は大都市でも山陰のような地方でもほとんど変わらない」

データからいくつかの原因、傾向は読み取れる——

「まず、感染経路の半数以上が、性風俗の利用者または従事者であること。男性の年代別感染者は10代から60代と広範囲なのに対して、女性では20代が突出して多い。性風俗に関わった人の感染リスクが高いということが言えます」

2016年と2023年の「男女別・年齢に対する梅毒の分布」のグラフを比較してみよう。まず目につくのは、16年時点ではほとんどいなかった高齢の感染者が23年のデータでは増えていることだ。「7年前に感染していた方が、そのままスライドしていると思われます」

グラフの形はほとんど同じであり、一見するとあまり変化がないように感じられるが、感染者数の数字——総数が大幅に増加している。

「10年後、40代や50代の男性も増えていき、そのぶん女性もさらに増えていくということが予想できます」

無自覚な「保菌者」が感染を広げている

そもそも梅毒とはどのような疾患か。原因となるのは「梅毒トレポネーマ」という「スピロヘータ」の一種。スピロヘータとは、らせん状で活発な回転運動を行う細菌の総称である。スピロヘータの中には病原性のあるものがあり、ヒトに感染して、回帰熱、ワイル病、黄疸出血症、そして梅毒を引き起こす。

梅毒は感染経路の8～9割が性的接触による、性感染症（STI：Sexually Transmitted Infections）の1つとされている。同じく性感染症のHIVなどと比較して感染力が強く、口の粘膜や皮膚の小さな傷との接触でも感染する可能性がある。

「コンドームを使用しても100%感染を防ぐことが難しく、たとえば唇などに梅毒の皮膚症状がでていれば、キスをするだけで感染することもある。感染してから数十年かけてゆっくりと進行していきます。初期には感染した部位に硬いしこりができる硬性下疳（こうせいかかん）などが見られますが、痛みがなく自然に消えてしまうため治療を受けない患者も多い」

感染していても、症状が消える、あるいは和らぐことが多い。そのため、前出のデータのように、7年前の保菌者が完治しないまま、スライドしていくのだ。

5年ぶりに復活!!

鳥取大学医学部・附属病院の外国人に直撃!

Youは何しに「とりだい」へ?

Why did you come to Toridai?

「カニジル3号」で好評だったこの企画。あれから5年、新型コロナも落ち着いて、とりだい病院や医学部内に再び外国人の姿を見かけるようになりました。そこで久しぶりにYouたちにインタビュー!それぞれの思いやぶっちゃけ話を紹介します。

写真 七咲友梨 取材・文 中原 由依子



ダルカン ブランバイさん

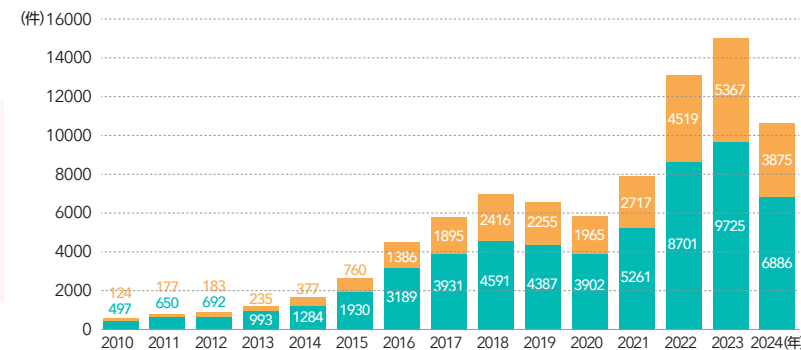
医学部 医学系研究科
医学専攻 脳神経小児科学分野

カザフスタンの民族楽器『ドンブラ』持参で現れたダルカンさん。弦は2本と作りはシンプルなのに、その音色はとても豊か。スローな曲もアップテンポも自由自在に操る。それもそのはず、ダルカンさんはミュージシャンを目指していた時期もあったという。「でも母が医者で、私にも医者になるよう勧めたんだよ」
ダルカンさんは外科医となり、新疆ウイグル自治区の病院で働く。しかし小児医療が十分でないことが、彼の気持ちを変化させた。「私は脳神経小児科の専門医として働きたい。カザフスタンでも自閉症やてんかんなど脳神経の病気の子どもが増えている。

その子たちの治療に携わりたい」鳥大医学部脳神経小児科学分野は日本有数の小児神経学の専門施設。優れた指導者と研究環境が整っていることを知り、ダルカンさんは鳥大への留学を決めた。「脳小の先生たちは親切で、素晴らしい指導を受けています。米子市は自然が豊かで食べ物も新鮮。学びと生活のバランスが取れるいい場所です」
母国のお勧め料理は「サムサ」。「牛肉や玉ねぎなどをパン生地詰めて焼いたもの。カザフスタンに行ったら、地元の音楽を楽しみながら味わってほしいね」と話した。



梅毒報告数の推移※



※[2022年感染症発生動向調査事業年報]厚生労働省健康生活衛生局感染症対策部感染症対策課・国立感染症研究所感染症疫学センター (2024年4月15日発行)

「診療科」へ 疑わしい時は、症状の出た

梅毒で最も気をつけなければならないのは妊婦である。
女性診療科教授の谷口文紀は、日本産科婦人科学会では梅毒の危険性の啓発活動に力を入れているという。
「感染した女性が妊娠すると、子宮内で

の不調に気がつき、治療を受けるため、日本においては重症化することはほとんどない。
治療自体も簡単であるとして、とりだい病院皮膚科教授の吉田雄一は言う。
「梅毒は早期であれば、ペニシリンを内服(1日3回、4週間)または1回注射をすればそれで完治します。すでに治療法が確立している病気なので、早い段階で適切な治療を受ければ、必要以上に怖れることはない」
ただし、小幡が指摘するように、無自覚な患者が感染を広げる可能性が高い。また、女性は身体の特徴から男性よりも患部が見えづらいから感染に気づきにくい。「1期や2期の段階でおかしいなと感じて病院に行ければ、梅毒はすぐに治ります。ですが3期になってしまうと、すでに骨や神経に変性が起こっていて後遺症が残ってしまうこともある。だから、できるだけ早い時期に治療をしたほうがいいのです」(小幡)

胎児に母子感染する『先天梅毒』が起こる。生まれた子どもに目の炎症や難聴など先天異常の症状がみられたり、流産や死産の原因にもなる。山陰ではまだ感染者数はわずかですが、特に大都市圏では女性感染者の増加に伴い、梅毒に感染している妊婦も急増しています」
もともと、出生前検診には梅毒の検査が含まれている。
「もし梅毒に感染してしまっても、出産前に適切な治療を受ければ先天梅毒の心配はありません。治療せずに出産してしまうと、赤ちゃんが感染してしまう」
近年、「プレコンセプションケア(Preconception care)」という考えが広がっているという。これは妊娠を考えるカップルが、将来の生活や健康に向き合うという取り組みである。
「赤ちゃんを守るためには、妊娠前にパートナーと一緒に検査を受けて、ともに感染していないか確認しておくことが大切です」
そもそも梅毒が疑わしいとき、私たちはどの診療科を受診すればいいのだろうか。

感染症内科講師の北浦 剛は、まずは初期症状が出た部位を専門とする医療機関に相談するのが望ましいという。
「陰部の症状であれば、男性は泌尿器科、女性は婦人科。口腔の性交渉でもうつるので、もし口に出た症状の場合は皮膚科や口腔外科などを受診する。梅毒以外

の病気である可能性も考える必要があるからです。そのため感染症内科では、必要に応じて各科と連携して診療を行なっています」
特に自覚症状はないが感染の心配があるので検査したいという場合は、多くの保健所で無料の梅毒検査を行なっている。プライバシーに配慮して匿名で受けられる上、梅毒と複合感染する可能性がある性感染症のHIVとクラミジアの検査も同時に受けることができる。
「免疫ができたからもう大丈夫という病気ではない。過去に治療をして1回治った人でも、再感染することは結構あります。そして性風俗などに関わっていないとしても、性的接触があれば誰にでも十分感染の機会はあります」
インターネットを検索すれば、梅毒の検査キットを見つかることができる。しかし、それらの検査の精度は保証されておらず、病院や保健所で行う検査とは意味合いが違うと北浦は言う。

梅毒に限らず、性感染症は恥ずかしいから人には知られたくないという意識があるために、発見や治療を遅らせ必要以上に怖い病気になってしまふ。その意識とはつまり、感染した人に対して自分がどう思っているのかということだ。私たちが見直すべきなのは行動だけではなく、自分が持っている病気に対する偏見なのかもしれない。

検査キットを見つかることができる。しかし、それらの検査の精度は保証されておらず、病院や保健所で行う検査とは意味合いが違うと北浦は言う。

インターネットを検索すれば、梅毒の検査キットを見つかることができる。しかし、それらの検査の精度は保証されておらず、病院や保健所で行う検査とは意味合いが違うと北浦は言う。

検査キットを見つかることができる。しかし、それらの検査の精度は保証されておらず、病院や保健所で行う検査とは意味合いが違うと北浦は言う。

日系3世のケンジさんは、サンパウロ大学医学部の6年生。「祖父が鳥取県湯梨浜町の出身で、ブラジルで柿農園をしていました。ぼくは自分のルーツをたどりたくて、鳥取県の留学プログラムに応募しました」留学が採用となり、医学生であるケンジさんは鳥大医学部の健康政策医学分野で学ぶことに。フレイル予防プロジェクトのフィールドワークでは地域の人たちとも交流した。「最初は日本語が全然分からなくて緊張しました。でも日本の皆さんがたくさん話をしてくれて、言葉も教えてくれました」休日の過ごし方は「ブラジルにいる時から、鳥取砂丘は見たほうがいいよと勧められたので、砂丘と砂の美術館に行きました。もう一つは日本の食べ物を食べることです」特にラーメンにはまり、鳥取のソウルフー

ドである牛骨ラーメンスタンプラリーで店を巡り、全店制覇を成し遂げた。もうすぐ留学期間が終了し、ブラジルに帰るという。「私の祖母は認知症になったとき、ポルトガル語を忘れてしまったけれど日本語は覚えていたんです。祖父母のように日本からブラジルに渡った一世の中には日本語しか話せない人もいます。困っている日系人を支える医者になるのが私の夢です」



伊藤 ガブリエル ケンジさん

医学部 社会医学講座
健康政策医学分野



ユリディジ ムーハンマイディカリさん

医学部 医学系研究科
医学専攻 統合生理学分野

初めて日本を訪れたユリディジさん。中国では新疆医科大学第一附属病院での研修中、神経内科で『もやもや病』という病気の診断と治療に関わり、脳神経に興味を持った。そこで神経メカニズムについて学びを深めようと鳥大の統合生理学分野に留学を希望した。他にも鳥大を選んだ理由があった。それは、同郷の先輩が鳥大にいたこと、そして「子どもの頃から日本の文化に興味があり、『名探偵コナン』が大好き。鳥取に来て日が浅いので、まだ機会はありませんが、北栄町の青山剛昌ふるさと館に行きたいです」ユリディジさんは日本語がまだ不慣れ。けれども物怖じせず、翻訳アプリを使いながら街へくり出している。「日本人は優しく親切。研究室のスタッフにもたくさん助けてもらいました」将来は、日本での留学

経験もふまえ、創業にも携わりたいという。故郷は新疆ウイグル自治区の伊寧市。「山脈のふもとには美しい湖があり、草原では牛や馬、羊が飼われています。食べ物では『バルザック』がおいしいです。甘くない揚げパンでミルクティーに浸したり、ジャムをつけて食べたりします」ユリディジさんは医学の勉強とともに日本の習慣や文化も感じていきたいと笑顔で答えた。



レイハン アンディカ フィルダウシさん

医学部 医学系研究科
医学専攻 法医学分野

ブラウウィジャヤ大学の法医学教員であるレイハンさん。鳥大医学部法医学教授の飯野守男先生に出会ったのは、2022年の秋。「飯野先生がブラウウィジャヤ大学で講演をされて、その後の食事で交流したことが留学のきっかけとなりました」インドネシアは17000を超える島々で構成されている国。法医学者の数は他の専門医に比べて少ないという。専門性を高めようと大学からの推薦とサポートを得て、飯野研究室の門を叩いた。「飯野先生は国際的にも有名な方。先生のもとで法医学画像診断学を学び、母国の法医学診断システムを確立したいと思っています」初めて米子市に降り立ったときの印象は「混雑がないのにびっくりしました。私が住んでいるマランはオートバイだらけで交



イルファン ケスマヤディさん

医学部 医学系研究科
医学専攻 脳神経外科学分野



「インドネシアでは脳神経外科医の数が少なく、現在約500人しかいないんです」イルファンさんは、母国の脳神経外科医療を充実させたいという思いがある。「以前、鹿児島大学医学部脳神経外科で半年間研修をしました。その時お世話になった教授が、鳥大脳外科の黒崎雅道教授と親しかったんです。私が通うディボネゴロ大学は鳥大と協定を結んでいることもあって、鳥大に留学する話になりました」当初、イルファンさんは鳥取がどこにあるのか分からず、インターネットで事前に調べたという。実際に到着してみると、ネットで見た写真以上に美しい景色で驚いた。「医局の皆さんはとても親切。手厚いサポートの中、高度な外科手術や様々な症例にふれ、論文作成にも励んでいます」イルファンさんの一番の思い出は医局の

『忘年会』。母国には『忘年会』のような行事はないそうだ。「インドネシア人は働いている時も話しかけやすいし、話しやすい。日本人は仕事中はシリアスなのに、忘年会での雰囲気は全く違う。まるで母国の仲間たちと一緒にいるかのように明るく陽気でした。その差がとてもユニークでぼくは大好きです。ぼくも忘年会と一緒に一芸披露したんですよ『ジャスティス!』(笑)」



呼吸器内科医であるアディティアさん。「私が在籍していたブラウウィジャヤ大学医学部の上司たちが、1度は海外に出て研究してみるのも大事だよと留学を勧めてくれました」そこで以前、1週間の視察で訪れたことのあった鳥大医学部に頭に浮かび、留学先に選んだという。「日本は診断や治療に関しての医療技術が高く、研究環境も整っていて素晴らしいです。鳥大の呼吸器内科や大学事務の皆さんが親身になって、いろいろサポートしてくれて本当に助かりました」母国との違いについて聞くと一番は気候。「インドネシアは雨季と乾季だけ。気温も寒くても24℃くらいはあります。日本は四季があって季節によって寒暖差が大きいんです。日本に来てから服を選ぶために毎日気温をチェックするようになりました

(笑)」アディティアさんのお気に入り米子城跡から日の出を眺めること。米子市は海と山が近くあって、リフレッシュに最適な場所だと話す。「インドネシアも自然が豊か。パダール島のビーチは美しくおすすめです。3つの入江は、白い砂浜、ピンクの砂浜、黒い砂浜になっていて、とても珍しいビーチなんです。ぜひ行ってみてください!」



アディティア スリ リストコヨさん

医学部 医学系研究科
医学専攻 呼吸器・膠原病内科学分野

青砥さんは鳥大医学部に勤務している英語の先生。「私はたまたまなんですが、1997年から米子市にいます」きっかけは、青砥さんがイギリスの大学を卒業する頃、就職前に1年間は海外で過ごしてみようとALT(外国語指導助手)の募集に応募したことだった。いろんな国が候補としてある中、日本にはなかなか行けないだろうと選択。すると鳥取県米子市に赴任が決まった。「私の故郷もイギリスの田舎コーンウォール。米子はそれほど不便ではなく住みやすいと感じました。それにイギリス人と日本人って、礼儀正しいところや自慢しながらないところなど性格が結構似ています」小・中・高校のALTや個人で英会話教室を続けていたところ、鳥大からオファーがあった。授業では、医学生たちが発言しや

すようにリラックスした雰囲気を作ることが心がけている。「皆さん大学に入るために、たくさん英語を勉強していますよね。けれども会話に自信がない人が多い。英語はコミュニケーションをとるための道具。覚えるんじゃなくて間違ってもいいから使う。ピアノが何回もやるうちに弾けるようになるのと同じ。英語もいっぱい使う練習をすることが一番です」



青砥 ダイアンさん

医学部 保健学科
基礎看護学 講師



病院長が話題の人物に迫る！

武に虎

とりだいフェス2025
夏祭りだよ 全員集合！
7/21(月)
ダイノジ参加決定！



武中篤

ダイノジ
大谷ノブ彦

今回のゲストは、漫才師でありDJとしても、全国各地を飛び回る「ダイノジ」の大谷ノブ彦さん。
生まれ故郷を盛り上げたいと東京から九州へと拠点を移した大谷さん。
日本全国を回って気づいた地方創生の課題、そして米子やとりだい病院のポテンシャルについて
武中病院長と熱く語り合いました。

写真 七咲友梨 構成 カニジル編集部

とりだいフェスの 「踊る病院長」



武中 昨年6月の『とりだいフェス2024』ではお世話になりました。病院の中庭で行なったダイノジの「キッズディスコ」。大谷さんがDJとして曲をかけて、相方の大地（洋輔）さんたちダンサーが踊る。どんなふうになるんだろうって行ってみたら、大盛り上がりでびっくりしました。

大谷 最初はまず子どもたちが知っている、踊れる曲をかけます。今の子は自分の得意な曲があつて、踊った映像をSNSに上げています。あつ、これは私の出番、みたいな感じで踊り出す。

武中 最初から子どもがノリノリで上手に踊っていましたよね。大谷さんたちが連れてきた子じゃないかと疑ったぐらい（笑い）。

大谷 仕込みじゃないです（笑い）。子どもが普段聴いている音楽も大事なんです。が、ずっとそれだけじゃない。その後、お父さんやお母さんの馴染みのある90年代の曲をかける。子どもに媚びない。そうした曲でも子どもの身体は動いているから、ついてくる。違った年代の曲を混ぜながら、ダンサーたちと平和な空間を作っていく。

武中 ダイノジのチームで印象的だったのが、大地さん、ダンサーの方々が楽し

そうだったこと。あの女性の方はプロですか？

大谷 （大笑いして）プロは1人もいないです。

武中 えっ、そうなんですか？ すごくキレのいい踊りでしたよ！ そもそも大谷さんがDJを始めたきっかけはなんだったんですか？

大谷 2002年にダイノジとしてM-1グランプリの決勝大会に進出しました。しかし、そこで8位に終わってしまいました。その後も出続けたんですが、M-1には（結成10年以内）のコンビというルールがあつたんです。ぼくたちは出られなくなつてしまった。ぼくたちは、これまでのお笑いの先輩たちがやらない何かをできないかとずっと探していたんです。そんなときDJを振られた。やってみたらものすごく盛り上がった。

武中 大谷さんは音楽評論を書くぐらい音楽には造詣が深い。その知見と芸人の盛り上げるといふ本能が合致した。

大谷 ぼくは（相方である）大地さんと一緒にやりたかつたんです。それで大地さんにエアギターを教えたなら、そのまま世界大会に出て世界一になつてしまった（笑い）。ただ、ぼくがDJをやるときダンサーが大地さんだけというのは体力的にきつい。そこでリズム感がある、ちよつと売れていない芸人さんにバイト代払うからやらないって声をかけたんです。そして、ロックフェス（のステージ上）で、

ぼくが考えた簡単な振り付けをみんなと一緒にやってみた。それがウケたんです。そのとき（関係者から）言われたのが、あんまりうまく踊り手ばかりだったら、観る方に回ってしまう。これぐらいだったら自分でもできるんじゃないかって、踊りたくなると。病院長も踊っていたできましたよね（笑い）。

武中 （頭をかいて）いやー、ぼくが踊るとは思っていないんですけど。

大谷 今のダンサーも本職は誰もいなくて、お笑いやっていたり、もともと裏方志望だったりという人です。下手でもいいからみんな楽しんで、恥をさらけ出す。病院長が率先してやってくれた（笑い）。

武中 あとから考えると、親近感があつて楽しそうだから、子どもたちも近寄っていたのかもしれないね。

地元だけでやっている「内向き」になる



大谷 ぼくたちが意識しているのは、主役はあくまでお客さんということ。地方創生っていうと、タレントを呼んでそれで予算ほとんど使い切った、なんて話をよく聞きます。そのときに旬で人気あるタレントを呼ぶかで集客が決まる。でも、大事なのはそこじゃない。参加してくださるお客さんに楽しんでもらうこと。

武中 敢えて、ゆるくすることも大事。

大谷 ぼくたちは芸人ですから、その場を盛り上げるのは、ある意味簡単なんです。ただ、イベントを継続していくのは地元の人。とはいえ、地元の人たちだけで内輪にやっていると殻にこもってしまいがち。外部の人たちがその殻を叩くことも必要。

武中 外部の人でないと分からないことがある。それが大谷さんたちの役割。

大谷 イメージとしては、地元の意見に耳を傾けながら、異質な何かを混ぜ合わせて、今まで見たことがない、その町や村にしかできないものを作る。それに関わるのが楽しい。

武中 とりだいフェスもまさにその1つでした。大谷さんたちは、キッズディスコだけじゃなく、メインステージで漫才、（病院駐車場に集まっていた）キッチンカーブースに行き、みんなを盛り上げてくださった。

大谷 病院でのフェスというのはぼくも初めて。国立大病院院つてお堅いイメージがあるじゃないですか。800人ぐらい来たら成功かなと思っていたんです。当日の朝、車で到着したら長蛇の列ができていた。誰かのコンサートが近くであるのかなと、思ったんです。そうしたら、とりだいフェスのオープンを待っている。しかも、子どもがめっちゃいる。こんなすごいイベントに参加させてもらったんですよ、嬉しくなりました。

武中 患者さんが病院に来るときという

のは「平時」ではなく「有事」なんです。つまりかなり困った状態になって来る場所。ぼくは有事になる前、平時の時点でまず病院に来てほしい。トイレの場所が分かっているだけで、安心感がある。

大谷 あーなるほど、そんな考えがあったんですね。あと、とくだいフェスで印象的だったのは、ボランティアの方がたくさんいたことです。

武中 サポーター制度は、ぼくが病院長になってから力を入れています。ぼくは若い頃、兵庫県田舎の病院にいたこと

があります。地方は医師が足りません。小児科のお医者さんが激務に耐えかねて、辞めると言い出したことがありました。そのとき地域の人たちから、我々が病院を守るという市民活動が起きた。米子はまだそこまでいっていませんが、このまま人口減少が続けば同じようなことが起こるかもしれない。我々も頑張りますが、やはり住民の方々にも伴走してほしい。また、平時のときにボランティアとして来ていただければ、病院のことがよく分かる。

「とくだい病院には人の温度が感じられる」



武中 2023年4月、ダイノジのお2人が生まれ故郷である九州の「福岡よしもと」に移籍したことは話題になりました。

大谷 若いときはとにかく東京で成功したいと思っていました。それで一生懸命お笑いをやっていた、ふと辞めようと思ったときがあったんです。1999年だから、26、7歳のときでしょうか。

それで実家のある大分に帰ったら、意外と応援してくれる人がいた。そういう方の存在がまずあって、改めて眺めてみると、東京にない、いいところがたくさんある。大分、すげえなって思ったのが始まりですかね。

武中 大谷さんは全国を飛び回って、様々なイベントを仕掛けています。地方が地盤沈下していると言われていた中、踏ん張っている場所もあります。そうした都市の共通点ってありますか？

大谷 (腕組みして) うーん、トップの緩さ、ですかね。例えば、俺が市長なんだ、とふんぞり返っているのではなく、軽く見られているんだけど、やるべきことはやっているみたいな。いろんな既得権益がある中、やりたいことを貫き通すには柔らかな物腰が必要なのかなと。

武中 ちょっとぼくに足りないところかも(笑い)。

大谷 いやいや、ぼくはとくだい病院の緩さがいいと思うんです。とくだい病院に着いて、廊下を歩いたら写真ギャラリイなどがあった。あれっ、病院なのに居やすいぞ、緩いぞ、って感じました。

武中 とくだい病院は2029年着工で、新病院建設を計画しています。ハードとしては、手術ロボット、AI(人工知能)など先進の技術を駆使した病院になるはずですが、ただ、いくらい病院を作っても、患者さんに選ばれなくては意味がない。山陰地方は10年後まで人口は徐々に

減少し、その後、がくと落ちるという予想がある。移住者、あるいは大谷さんのような2拠点、多拠点生活者をいかに呼び込むか。

大谷 ぼく、米子むっちゃ好きなんです。とくだい病院と縁ができる前から米子でイベントをやっていました。羽田空港から米子(鬼太郎)空港まで約1時間20分。米子空港からとくだい病院まで車で30分ぐらい。意外と近い。

武中 やろうと思えば日帰りもできます。ぼくもだいたい週に1回ぐらいは飛行機に乗っています。山陰ってご飯も美味しくて、人も優しい。米子に人が来るという仕掛けをしていきたい。

大谷 新型コロナウイルスで、リモート会議などの技術が一気に広まりました。便利になりましたよね。そして収束後、対面する価値が上がったとぼくは思うんです。若い子にスナックが人気。リモートでもコミュニケーションは取れるようになって、人の温かさに改めて気がついたというかね。とくだい病院には人の温度が感じられる。終の棲家という言葉が頭に浮かぶんです。

武中 そう言われると本当に嬉しい。

大谷 ぼく、最近毎日歩いているんです。そうしたら体重も落ちて、むちゃくちゃ身体の調子がよくなった。ウォーキング大会を病院でやりませんか。あつ、でもみんなが健康になったら病院が困るか(笑い)。



武中 いやいやそんなことないです。今後、我々の病院の鍵になるのは、病気になりにくいという「未病」だと考えています。ロボット手術のような高度医療の恩恵を受ける地元住民の人の数は限られている。どのように地元の人々に認めら

れて、愛される病院にするか。それは未病であったり、文化発信であったりすると思います。大谷さん、今後ともとくだい病院をよろしく願います。また面白いことやりましょう。

大谷 ぜひぜひ！

武中 篤 鳥取大学医学部附属病院長
1961年兵庫県出身。山口大学医学部卒業。神戸大学大学院研究科(外科系、泌尿器科学専攻)修了。医学博士。神戸大学医学部附属病院、川崎医科大学医学部、米国コーネル大学医学部客員教授などを経て、2010年に鳥取大学医学部腎泌尿器科学分野教授。2017年副病院長。低侵襲外科センター長、新規医療研究推進センター長、広報・企画戦略センター長、がんセンター長などを歴任し、2023年から病院長に就任。とくだい病院が住民や職員にとって積極的に誰かに自慢したくなる病院「Our hospital」私たちの病院」の実現に向けて取り組んでいる。

大谷 ノブ彦 吉本興業所属

大分県佐伯市出身。明治大学政治経済学部卒業後、1994年中学校の同級生でもある大地洋輔とダイノジを結成。2005年よりDJダイノジとしてDJ活動を開始。2017年から立命館アジア太平洋大学(APU)にて講師を務める。2023年、地元九州を盛り上げていきたいと拠点を福岡に移す。





一緒に「Our hospital -私たちの病院-」を作りませんか？

とりだい病院サポーター通信

とりだい病院では「サポーター」制度として、様々な方がボランティア活動を行なっています。この連載ではこうしたサポーターの活躍を取り上げていきます。みなさんもとりだい病院を「私たちの病院」にしてみませんか？

（よみがな） おおくら たいぞう

名前 大倉泰造

出身地 鳥取県米子市

活動内容

患者さんを院内各所へ誘導したり、花壇の植栽管理。とりだい病院の中を案内する院内ツアーのボランティア・コンダクターを務めることもあります。

いつから

2023年10月から

きっかけ

後期高齢者（75歳）となり、社会活動に参加できたらと思っていたときに、とりだい病院でサポーター制度が発足。ボランティアを募集していることを知りました。



写真 馬場磨貴

やりがい

患者さん、職員の方々との出会いや温かい言葉に、元気をいただいています。皆さんのお役に立てる活動ができてうれしく思います。

さらにやってみたいこと

ボランティアによる院内ツアーを定着化させ、院内外の人にとりだい病院のことを知ってもらいたい。

とりだい病院のここが好き！

ロボットによる手術など高度な医療が受けられ、日々進化している病院。職員さんがとても親切！

趣味／特技

近場の低山登山。登山の後には付近の温泉に入ってリフレッシュ。

山陰でお薦めの場所

米子城。太陽が大山山頂部に昇るダイヤモンド大山や、夕日の筋が中海に映り込むオレンジロードが楽しめます。

とりだい病院サポーター制度とは

とりだい病院がより良い病院「Our hospital（アワーホスピタル）-私たちの病院-」に成長することを目指し、広く地域住民の方に病院運営に参加していただこうと導入した制度。ボランティア部門、イベント部門、病院モニター部門、広報活動支援部門の4部門で構成。また寄付によるサポート支援もいただいています。

【募集要件】

- 15歳以上の方 ※中学校卒業以上（未成年については保護者の同意が必要）
- 本制度の趣旨を理解し無報酬で活動していただける方
- 本院の規則を遵守し職員の指示に従って活動していただける方

【申込先】

鳥取大学医学部附属病院
医療支援課 患者サービス係

詳しくは
こちら



カニジルご意見箱

通称

カニ箱



読者から

編集から

とりだい病院「芸達者」大集合に出ている医師や看護師、スタッフの皆さん素晴らしいです。このように医療従事者の方が趣味を楽しみながら働ける病院、応援しています。（岡山県・匿名希望さん）

とりだい病院を応援していただきまして、ありがとうございます。とりだい病院には、カニジル18号で紹介しきれなかった芸達者さんが、まだまだいらっしゃいます。近いうちにパート2があるかもしれません。それにしても医療従事者の方は、オンとオフの切り替えが上手だなと思います。私も見習いたいです・・・（石谷）

カニジル
サイト
QRコード



カニジルへのご意見・ご感想を募集中！



www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/kanijiru/e/

とりだい病院ホームページからもアクセスできます。

トップ＞病院のご紹介＞当院の広報物＞読者アンケート回答フォーム

抽選で
カニジル
ステッカー
プレゼント！



※ステッカーの種類は選べません。

カニジルブックレビュー

医療従事者は
「話題の本」を
こう読む



第6回

『Science Fictions
あなたが知らない科学の真実』

（スチュアート・リッチー 著／矢羽野 薫 訳 ダイアモンド社）

評者

鳥取大学医学部生命科学科 教授
香月康宏

私の専門分野である生命科学を含む「Science（自然科学）」は、自然現象を対象とする学問の総称です。それが「Fiction（創作、架空）」とは、どういうことなのか——科学における不正・怠慢・バイアスがなぜ起こってしまうのかを、この『Science Fictions あなたが知らない科学の真実』では、数多くの具体例とともに解説しています。

鳥取大学では、1990年に全国で初めて医学部の中に生命科学科が設立されて以来、医学分野における生命科学研究者を数多く輩出してきました。生命科学研究は、新たな予防薬・治療薬や治療法を開発する上で、非常に重要な学問分野です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数が予想よりも大きく抑えられた要因の一つとして、ワクチン接種が挙げられます。

生命科学研究者のカタリン・カリコ博士らが1997年ごろから基礎研究を始め、今回のメッセンジャーRNA（mRNA）という遺伝物質を利用したワクチン開発の成功につながりました（2023年ノーベル生理学・医学賞受賞）。

関連研究として、私もこれまでに独自の染色体工学技術（染色体を操作して遺伝子を導入する技術）を用いた完全ヒト型抗体産生マウスの開発に成功しました。このマウスは、COVID-19などの新興・再興感染症に対応する新しい治療薬（抗体医薬品）の創出に向けて重要な役割を果たしています。そんな生命科学の研究者である私にとって、印象に残ったのは、（ある企業の研究者が一流の学術雑誌に掲載された、実験動物や細胞を使った非臨床研究（患者におけ

る臨床試験の前段階）の再現性実験を行った結果、再現できたのはわずか11%だった」という部分でした。

再現性とは、論文などで公表された実験データが、他の研究者が同じ実験を行なった場合でも、同様の結果が得られることを意味します。これは基礎医学研究を行う上で最も重要な要素です。再現性が低い研究があるだろうと感じていた私でも、本書に示された具体的な数字には驚きました。このような結果になる要因の一つは、論文に正確な情報が記載されていないことだと著者は指摘しています。

2029年新病院着工へ とりだい「未来病院」発進!!

「私」なら、こうする&こうしたい!

構成 西村隆平 写真 馬場磨貴

とりだい新病院は、誰もが安心できるような空間にしたいと思っています。患者さんはもちろんのこと、職員が安心して働くことができて、医学部の学生も安心して学ぶことができる病院です。

私たちはそれを「インクルーシブホスピタル」と呼んでいます。インクルーシブという言葉は「誰をも含む」という意味で使われることが多いですが、同時に「開いている」「排除しない」という意味も持っています。「誰でもいいよ」というメッセージが、人の言葉や態度、病院の制度や空間設計の中に込められている場所です。未来の理想病院を作るというならば、もう「配慮をする」というあいまいな段階であってはいけないと思います。

誰もがこの場にいきやすいと感じるためには、安心とはなにかということ話し合う必要があります。とはいえ、いきなり誰もが納得する答えを出すのは難しい。まずは意見を言えない声の小さい人に対して、こちらから率先して関わっていく。一緒に誰もが意見を述べやすい場を作りながら、安心できる環境をどうやって現場に落とし込んでいくのかを検討していきます。すべての希望を実現できるわけではありませんが、このようなワークショップを定期的開催することで、どんな人でも意見を言える場を作ることが大切です。

私の専門である公衆衛生では、多様な性のあり方によって医療現場で生じる課題にも取り組んでいます。新病院の設備面には、トイレや更衣室をどうするのかという課題があります。対応としては、男女別スペースに加えて、性別表示のない個室トイレを設置する。スペースの広い多機能トイレの利用に申し訳なさを感じている患者さんも、より使いやすくなるという長所もあります。また働く職員には、雇用規約で同性のカップルでも福利厚生を受けられるようにする。そういった対応を一つひとつ確立していくことで、誰に対しても開かれた病院が形づくられていくのだと思っています。



鳥取大学医学部
社会医学講座環境予防医学分野 特命助教

金 弘子 (きむ ほんぢや)

2011年鳥取大学医学部卒業。医師。市立豊中病院、飯塚病院の勤務を経て、2023年10月から現職。2020年に、LGBTQs などの性的少数者を巡る問題に関心を持つ人たちと共に「まるっとインクルーシブ病院の実装プロジェクト」を立ち上げ、誰もが安心して過ごせる医療機関にしていこうための取り組みを行なっている。

写真 馬場磨貴

18号から表紙や「鳥大の人々」、特集などの写真を担当することになりました。病院という未知の場に少し緊張しながら足を踏み入れましたが、滞在するたびにとりだい病院の魅力を発見しています。撮影で院内を歩いていると、働かされている方々の表情の明るさに気がつきます。先生方や看護師さん、スタッフさんやボランティアさんを撮影していると、廊下ですれ違う方々が気軽に声をかけてくれます。何だかとても風通しが良いのです。そんな空気の中、被写体の皆様がふっと見せる素の表情に、カメラマン魂は踊ります。また撮影現場で交わされる会話の端々からも、柔らかな中に関係性の強度を感じます。軟なコミュニケーションとは一線を画す、きりりとした緊張感が垣間見えます。明るい笑顔と会話の土台に、仕事を介して裏打ちされた信頼感があるのだと感ずるのです。良い気が循環するとりだい病院から、毎回パワーをいただいで東京へ戻っています！お仕事中に快く撮影にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！

〈飛鳥の森とは〉

鳥取大学医学部キャンパス内にある、学生や患者さんが集う憩いの場。「飛鳥（ひちょう）」という言葉には、鳥取大学の一層の飛躍を願う気持ちが込められている。

カニジル編集後記
飛鳥の森



カニジル ラジオ

放送 土曜ひる 0:25-0:55

「カニジルラジオ」 (BSS山陰放送)

毎週土曜日 0時25分から放送中。
病院関係者が出演、とりだい病院をもっと知ることができる番組です。

過去の放送も
こちらで聞けます。



Tottori Breath



大阪・関西万博と『待たずにラク〜だ』

入場券販売の伸び悩み、事前の盛り上がりに欠けるなど開幕前に不安視されていた大阪・関西万博が4月13日に開幕した。本誌が皆さんの手に届く頃にはアジア初の国際博覧会として記憶に刻まれた、1970年の大阪万博と同様に盛り上がりつつあるはずだ。

なぜぼくが万博に肩入れしているかというと、『よみうり万博チャンネル』(https://www.youtube.com/@yomiri_exp)という新聞連動の動画チャンネルプロデューサーとして、これまでたくさんパビリオンの魅力を伝えてきたからだ。その他、万博の目玉の1つ、空飛ぶクルマのシンポジウムを大阪市内で開催してきた。7月1日には万博会場内のEXPOホール『シャインハット』でスペシャルイベント『今日は一日鳥取県〜まんが王国ととりの魅力〜』を企画。人気のテレビアニメ『名探偵コナン』(読売テレビ放送)の元チーフプロデューサー諏訪道彦さんと一緒にイベント演出を務める。ぼくは未来を体験できる万博が大好きだ。

当然ながら、70年万博は1週間学校を休んで隅々まで見物した。当時、ぼくは8歳。境港から大阪まで出かけた。あの時の『未来』への興奮は、今でも鮮明に覚えている。

2005年愛知県で開かれた「愛・地球博」でも取材中継を担当した。2010年中国「上海国際博覧会」では、パビリオン建設と開会式中継。会場の大混雑、変貌する上海の姿を伝えた。万博取材の担当をずっと続けてきた万博マニアなのだ。

今回の万博の開催地は、江戸時代から薬種問屋が軒を連ね、日本の医薬品産業の発展を牽引してきた大阪。現在も最先端のライフサイエンス研究拠点や大学、研究所も多数存在する。『大阪ヘルスケアアーパビリオン Nest for Redori』には、医療関係企業が500社近く出展し、健康データの測定や来場者の栄養測定、健康体験やヘルスケアの提案も行われる。医療の未来が体験できる。

再生医療、遠隔治療、AI診療の最前線や未来の病院の姿、健康データを活用して、病気の治療や医薬品開発——普段見ることのない現場も体験できる。機会があればぜひ万博に足を運んでもらいたい。

医療の未来はワクワクする。我がとりだい病院でもワクワクする取組みが去年10月からスタートしている。医療費後払いサービス『待たずにラク〜だ』である

病院の外來で、さんざん待たされてようやく診察を受け、「さあ、家に帰ろう」とすると、会計でまた待たされる。

とりだい病院の外來の1日の利用者は、平均して1500人以上。会計が重なる午前11時から午後1時の待ち時間は、長い時には1時間近くにもなるという。会計待ちの人数は、外來ロビー混雑と駐車場の満車にも影響していた。「病院は待つもの。仕方ない」というこれまでのイメージを解消するために生まれた画期的なシステムが『待たずにラク〜だ』なのだ。

後払いサービスは、ホームページからクレジットカードを登録。またはアプリ『とりりん』で初回のみ支払いカードを登録するだけ。あとはカードで自動的に決済される。

病院に来て『とりりん』アプリで受付。あとは外來診察まで喫茶や仕事、読書など自由に院内で過ごし『とりりん』とアプリが鳴ったら診察室へ。診察後は書類を窓口に渡したら、そのまま帰宅。会計金額はメールで通知され5日後にクレジットカード決済。領収書も発行可能。技術の進歩で、病院の待ち時間が解消されていく。どんな病院が便利になるのだ。



結 城 豊 弘

1962年鳥取県境港市生まれ。テレビプロデューサー。鳥取大学理事と本誌スーパーバイザーを務める。鳥取県アドバイザースタッフ。境港観光協会会長。



〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地一
鳥取大学医学部附属病院 広報・企画戦略センター内「カニジル」編集部
TEL 0859-387039 / FAX 0859-386992
MAIL byouin-kouhou@med.tottori-u.ac.jp



フォトグラファー七咲友梨が切り取る
とりだい病院の日常

シン トリビート

七咲友梨

鳥根県出身。役者として活動後、写真家に。ポートレートや国内外の旅や暮らしの写真を中心に雑誌、広告、Webなどの分野で活動すると同時に、写真展や写真集制作など作品発表も行う。近著に『朝になれば鳥たちが騒ぎだすだろう』『どこへも行けないとしても』（13h/イッテンサンジカン 刊）。映像撮影も手がけ、映画『場所はいつも旅先だった』（監督：松浦弥太郎）では、動画とスチールの両方を担当。



check!

とりだい病院情報
日々発信中!



@tkanijiru



@kani_toridai



@tkanijiru